

世帯数	9,052世帯
総人口	39,707人
男	19,998人
女	19,709人
出生	178人
死亡	126人
転入	31人
転出	7人
男女計	143人
	130人
	256人
	18人
	49人
	5人
	12人



発行所
留萌市役所
電話(代)270番
編集人
総務課長 寺井利恵
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
(毎月1回 1日発行)

かねてから念願しておりました留萌港北岸の石炭荷役機が、めでたく完成いたしました。まことに喜びにたえません。

私どもの留萌港は、北海道日本海岸のほぼ中央にある重要港湾であります。



北岸ローダー完成に当つて

留萌市長 橋本作市

その背後地域には埋蔵量六億トンをほころぶ留萌炭田及び北空知の炭田をもち北海道総合開発の進展につれ石炭開採の進展が著しく、出港としての真価は年々ひろく注目されてきたのであります。そこで市はこの使命にこたへ、港勢発展のためにはやくから港務施設、とりわけ北岸ローダーを含む内港荷役設備の強化を痛感し、北岸ローダーの建設をしばしば



ようこそ-いらつしゃい "老人クラブ"でできる

〇：かねてから、おとしよりの方々に待たれていました老人クラブがこの程公民館和室に設けられました。

戦後日本人の寿命が非常に伸びたこと、八〇以上の老人が、おとしよりの方々に待たれて、老人クラブを設けて、毎日の生活が楽しく、うるおいのあるものにするため、憩いの部屋としたのであります。

〇：総額二十八万円をかけたこの老人クラブは、テレビのほか電器、囲碁将棋、茶道具、生花などの設備をして、自由に楽しくお話しをし、自由に楽しい生活が過ごせるようになっています。

すでに夫婦つれづれであるいは隣近所までいあつた、おとしよりの方々が「毎日の生活に楽しみが増えました。」と大喜び、朝早くからおとすれている姿もみられます。

〇：老人クラブは今後さらに設備をりつばなものでしてゆく計画ですが、毎週月、金曜日を除いた日の朝九時から夕方四時半まで開いています。おとしよりの方々が一人でも多く仲間入りされるよう、お友達をお待ちしています。

なお満六十才以上の方は自由に利用できますが市福祉事務所では資格証を発行しています。

〇：このため市では市独自の楽しい一コマ

庁管内及び空知、網走の北部を含む地域が考えられ、この広大な背後地域の門戸として、また近い将来三百萬トンの物資の吞吐港として着々港務整備を促進して参つたので、北岸ローダーの完成はただ単に石炭荷役の能力を増大させるばかりでなく、港務チャージの低減、海上運賃の軽減をはかることができ、その意義はまことに大きいものがあります。

その昔、一河川にしか過ぎなかつた留萌も、歴代先覚者の余徳によつて、今日の港都留萌を築いて参つたのであります。本年は留萌港の歴史に輝かしい一ページを飾るこの記念すべき年を迎え、市民とともに喜びたいと思つています。

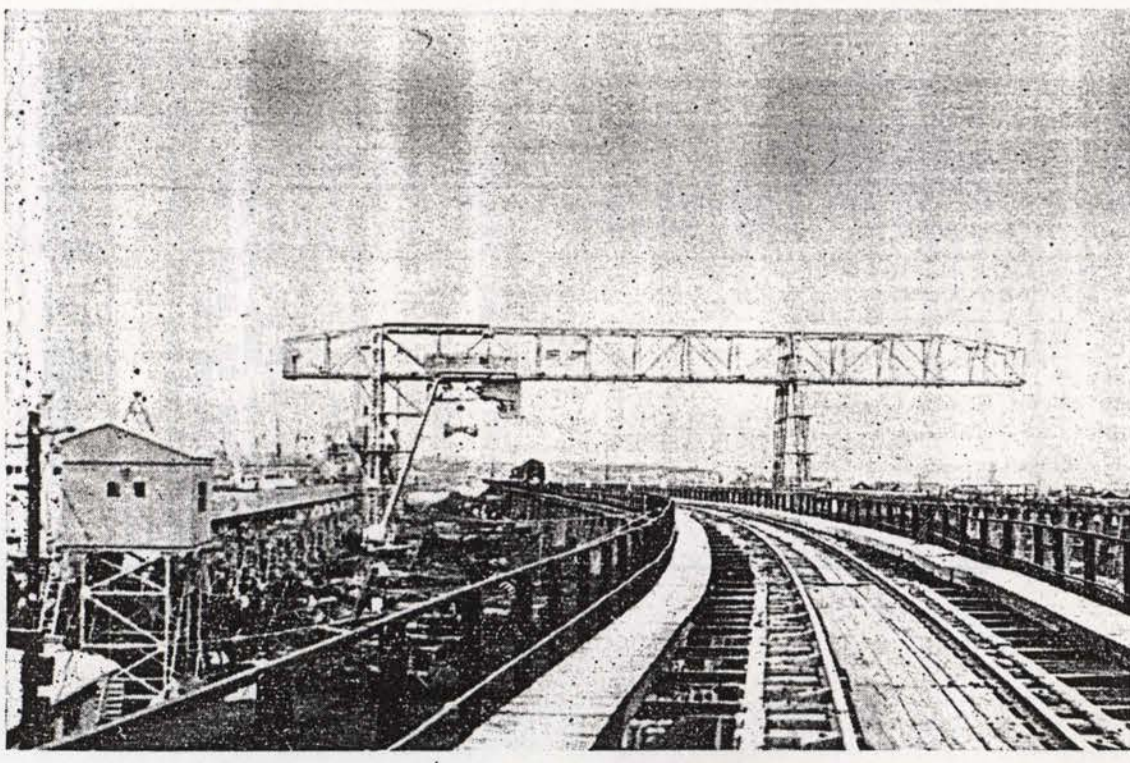
巨大な北岸ローダー完成

留萌港整備十カ年計画の一つ

留萌港の北岸に巨大な石炭積込機、ローダーが完成しました。

総額一億九千四百万円をかけて、昨年四月から工事が進められていた北岸ローダーは、延長四百米のベルトコンベアーと橋型起重機、それに石炭積込機の三つの機械からなり、約一年三カ月ぶりに完成したわけ。

留萌港からは年間約八十万トンの石炭が、本州の工業地帯に船積みされてはいますが、南岸ローダーでは石炭より処理できませんが、近い将来第二高架が改修された場合はその分にも手をのばして処理できる能力を持つてゐるので、着深線の開通、名羽線の着工ともあいまつて、連絡用警報器、各機械間の無線機利用や制ぎよ方式にも近代性をもつたこの北岸ローダーは、貯炭能力約九万トンといわれ、昭和四十年の年間二百六十万トンの取扱目標に向つて大活躍が約束されていま



ダイナミックな容姿で完成した北岸ローダー